

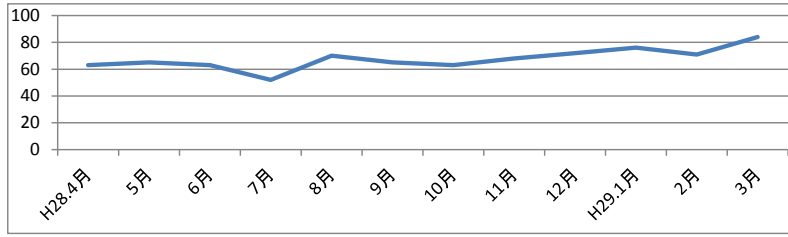
文京区障害者基幹相談支援センター 平成28年度 実績報告

1.総合相談支援業務

(1) 相談実人数 H28年度:のべ812名、(H27年度 552名。前年度比 147.1%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談実人数	63	65	63	52	70	65	63	68	72	76	71	84	812名

(67.67人/月)

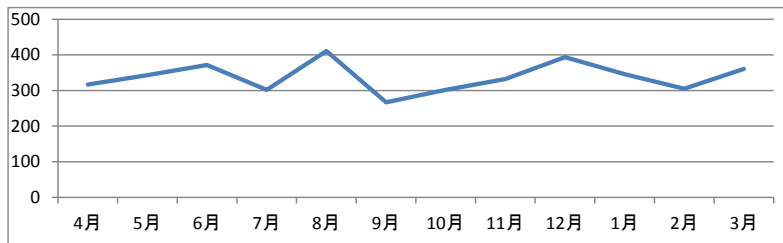


単位:人

(2) 総相談件数 H28年度:のべ4,052件(H27年度 3,382件。前年度比 119.8%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総相談件数	317	343	372	302	411	267	302	332	394	346	305	361	4,052件

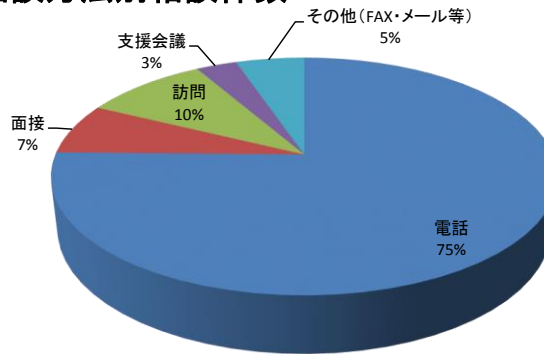
(337.67件/月)



単位:件

相談方法別相談件数	28年度	27年度
電話	3,051	2,362
面接	282	301
訪問	381	512
支援会議	126	89
その他(FAX・メール等)	212	118
合計	4,052	3,382

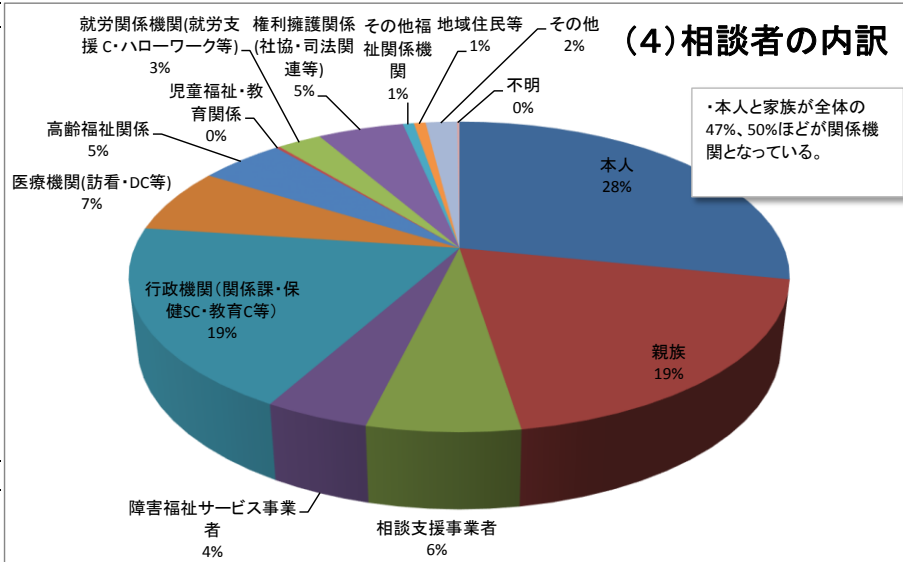
(3)相談方法別相談件数



・電話件数の割合が多く、訪問に件数は前年度より減となっている。但し、訪問の内訳を見ると、精神障害者の退院促進の動きが増えており、区内に入院できる病院が少ないため、区外の病院への訪問が多く、1回あたりの往復にかなりの時間を費やしている。

相談者の内訳	28年度
本人	1,144
親族	781
相談支援事業者	255
障害福祉サービス事業者	175
行政機関(関係課・保健SC・教育C等)	771
医療機関(訪看・DC等)	274
高齢福祉関係	200
児童福祉・教育関係	9
就労関係機関(就労支援C・ハローワーク等)	105
権利擁護関係(社協・司法関連等)	204
その他福祉関係機関	26
地域住民等	28
その他	74
不明	6
合計	4,052

(4)相談者の内訳

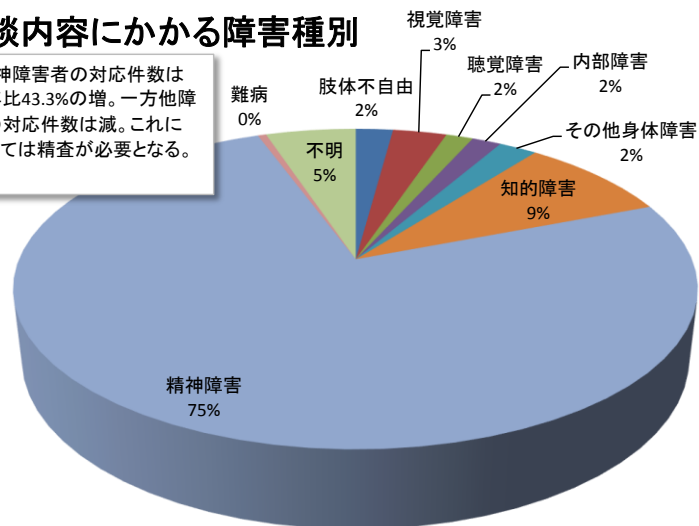


・本人と家族が全体の47%、50%ほどが関係機関となっている。

(5) 相談内容にかかる障害種別	28年度	27年度
肢体不自由	85	173
視覚障害	123	300
聴覚障害	62	210
内部障害	67	31
その他身体障害	87	11
知的障害	350	377
精神障害	3,053	2,130
難病	19	30
不明	206	120
合計	4,052	3,382

(5) 相談内容にかかる障害種別

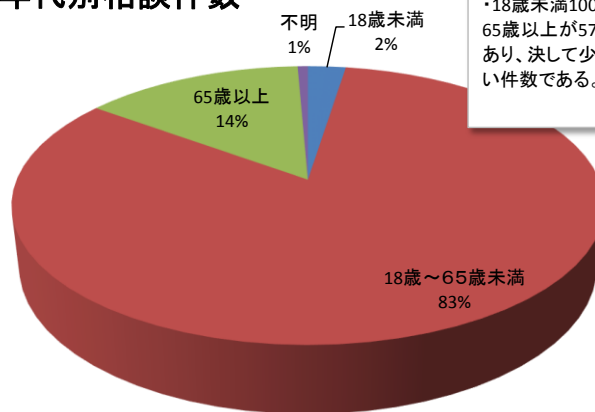
・精神障害者の対応件数は前年比43.3%の増。一方他障害の対応件数は減。これについては精査が必要となる。



(6) 年代別相談件数	28年度	27年度
18歳未満	100	93
18歳～65歳未満	3,346	2,912
65歳以上	579	367
不明	27	10
合計	4,052	3,382

(6) 年代別相談件数

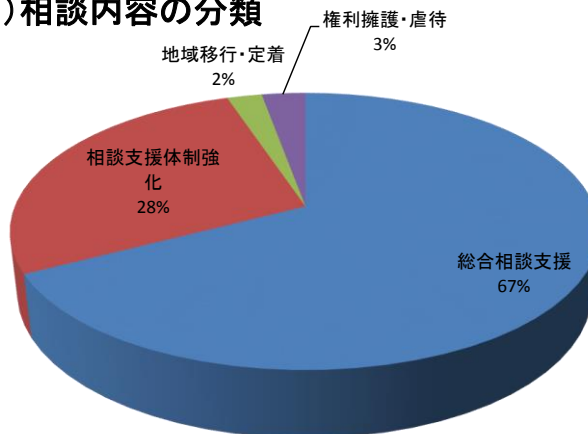
・18歳未満100件、65歳以上が579件であり、決して少なくない件数である。



(7) 相談内容の分類	28年度	27年度
総合相談支援	5,526	4,424
相談支援体制強化	2,259	1,231
地域移行・定着	186	368
権利擁護・虐待	234	163
合計	8,205	6,186

(相談内容が複数の項目に該当する場合は、複数の項目を該当させているため相談件数とは一致しない。必要な場合は3項目まで可)

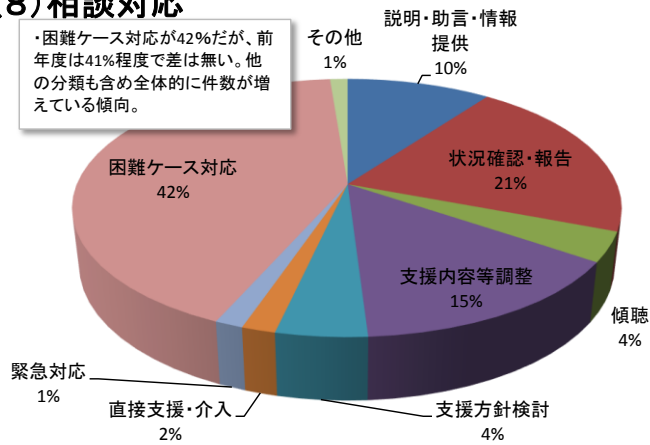
(7) 相談内容の分類



(8) 相談対応	28年度	27年度
説明・助言・情報提供	409	432
状況確認・報告	838	879
傾聴	150	111
支援内容等調整	589	309
支援方針検討	183	156
直接支援・介入	68	63
緊急対応	57	35
困難ケース対応	1,708	1,387
その他	50	10
合計	4,052	3,382

(8) 相談対応

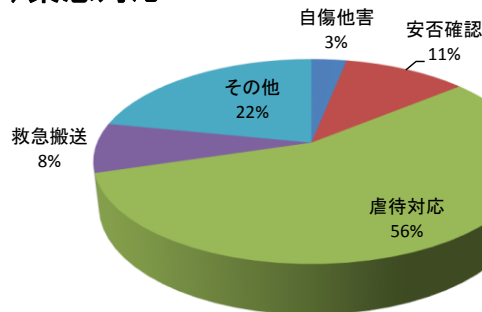
・困難ケース対応が42%だが、前年度は41%程度で差は無い。他の分類も含め全体的に件数が増えている傾向。



(9) 緊急対応・困難ケースの対応	28年度	27年度
自傷他害	2	4
安否確認	7	27
虐待対応	36	1
救急搬送	5	6
その他	14	2
計	64	40

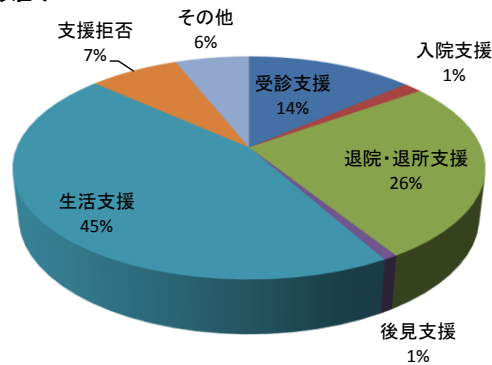
(9) 緊急対応

・緊急対応、困難ケース対応ともに、年度により内訳に違いがあるが、一人一人の顔を浮かべると、納得のいく内訳で、今年度虐待対応が増えたのも、1名の対応でこれだけの件数となっている。



(9) 困難ケース	28年度	27年度
受診支援	232	184
入院支援	26	35
退院・退所支援	440	212
後見支援	14	2
生活支援	761	792
支援拒否	125	151
その他	103	6
計	1,765	1,382

(9) 困難ケース



※困難ケース対応は、次に該当する事例を集計している。

- ア 身体状況が重篤にもかかわらず入院や受診を拒否し、説得を続けるために時間を要した場合
- イ 利用者又は介護者等の状況から障害福祉サービス等の導入を要するにもかかわらず、利用者本人又は介護者等が拒否し、説得に時間を要した場合
- ウ 精神疾患等により理解力が低下しているため、繰り返しの説明や支援が必要で時間を要した場合
- エ 受診、入院又は施設等への入退所に向けて家族等に依頼できない(遠方や非協力的)場合で、受診、入院又は入退所に支援が必要で時間を要した場合
- オ 体調の急変により食事が摂れていないなど、やむを得ず身の回りに関しての支援で時間を要した場合
- カ 精神疾患等により片付けられないため室内が不衛生状態等で、支援が必要で時間を要した場合
- キ 成年後見、安心サポート利用等に関し、説明に時間を要した場合又は必要書類を探すために室内に入り時間を要した場合並びに手続等の支援に時間を要した場合

2. 開催講座・会議等件数等	28年度	27年度
出席会議	116	147
支援会議開催	28	30
支援会議参加	98	59
参加研修	69	73
出張講座	1	5
基幹周知活動	23	44

・27年度と比べると、支援会議以外は件数が減っている。これは28年度の基幹の活動の比重をそのまま表しているとも言える。